

第3回学校運営協議会

- 1 日時 令和3年2月24日(水)
※新型コロナウイルス感染症予防のため、書面による開催とする。
- 2 参加者 学校運営協議会委員 増渕 晴美 大垣 玉枝 下山千恵子 吉田 聡
大橋 義一 諏訪美津枝 五十畑 直 日向野紘子
隅内 宏(本校校長)
事務局 石島 直(本校教頭) 中川恵津子(本校教務主任)
高山 芳三(本校地域連携教員)
- 3 内容 令和2年度学校評価の結果説明と協議(学校関係者評価)

※今回は評価結果、児童・保護者・教職員のコメント等を書面で配布し、書面で意見をいただいた。

お忙しい中、各委員様より貴重なご意見をいただきました。その中で、本校の教育活動が、教職員と保護者の相互理解と協力、地域の支援をもとに営まれ、落ち着いた児童が育っていることに一定の評価をいただきました。また、教職員の日々の努力についても感謝と励ましのお言葉をいただきました。

ご指摘いただいた、「読書指導のあり方」「異年齢集団活動の継続・充実」「児童のSOSを見落とさないよう、学校と保護者のコミュニケーションにさらに努めてほしい」「少数の否定的評価を大切に」等についてもしっかりと受け止め、次年度の学校経営に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

○アンケートグラフおよび考察から

- ・学習に対しては4(そう思う)、3(少しそう思う)がほとんどなので安心したが、理解の弱い児童にはサポートをお願いします。
- ・学校生活は「話をよく聞くこと」が基本。2「話をよく聞いて協力して学習」の評価がさらに上がることを期待します。
- ・20「学校は楽しいか」というアンケートについて、子供も保護者も教職員も「そう思う」が80%以上になるといいなと思えました。楽しく通えることが一番ですから。
- ・21「感染症対策」というアンケートについて、「そう思う」と回答した保護者が半分以下でした。きっと学校に行く機会が減少し、確かめていないから?と思えました。子供に聞けばもっと分かると思えました。
- ・全体的に点数が上昇していると思われませんが、8「身の回りの整理・清掃」、9「係活動(家庭での手伝い)」の平均点数が保護者部分と児童及び教職員との点数が多少開いているので、学校と家庭での差があると感じられました。
- ・保護者の数値が低い。児童の目線に向けてほしい。3「家庭学習」については、子

供たちは忙しいのかと思う。20「学校が楽しい」は、教職員とも同じでよいと思う。安心できる。

- ・ 5「読書」の件ですが、なかなか難しいです。保護者のアンケート結果からも家ではほとんど読んでいない様子が見られます。学校では家読りレーなど、子供たちが本に興味を持てるよう色々な内容を考えてくださっています。すぐに身に付くものではないと思いますが、継続していくことは大切だと思います。今年度から大学受験の内容も変わり、自分で考えて答えを導くものです。先々を考えても読書は重要なことです。親が見本を示すことも大切です。時間がある時（土・日等）家族全員で本を読む時間をつくるような指導ができればいいですね。
- ・ 考察に書かれてあるように、肯定的な意見を受け止め、さらに少数の否定的意見を反省しなければならないという姿勢を評価します。「学校へ行くのが楽しい、明日も学校に行きたい。」になるよう、少しでも否定的な思いをする子供が減りますように。
- ・ 10「学校行事の取組」、20「学校に行くのが楽しい」の項目が、児童・保護者・教職員ともにポイントが高いのが何よりと思います。保護者は、子供への期待の裏返しに概して辛めのコメントのような気がします。（実際には、褒めて伸ばしているのかもしれませんが）。

○児童のコメントから

- ・ 2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の回答が多い子は、自分のことや学校のことが嫌いになりがちかと思う。厳しい指導とともに、できた時はしっかり褒めてあげることが必要。
- ・ 「早ね、早起き、朝ごはん」ができないという児童のコメントですが、親も努力が必要だと思います。朝ごはんはパワーの源ですから！。そして大人になっても続くことなので、生活リズムはしっかりと親子で見直しが必要です！
- ・ 16「先生は話を聞いてくれる」、17「先生は自分が努力したことを認めてくれる」、18「先生は人として大切なことを教えてくれている」などの評価が高く、先生が個々の児童に対し一生懸命指導していることが伺えます。
- ・ 本心からのアンケートだと思う。特に心配な点として、「学校のことを家の人に話さない」「嫌なことを言いたくない」というコメントである。いじめにつながる可能性がある。しかし先生は「話を聞いてくれる」という評価が高く、少しは解決しているのかなと思う。
- ・ 17「先生は自分が努力したことを認めてくれ励ましてくれる。」、18「先生は人として大切なことを教えている。」の項目の数値が非常に高かったのは素晴らしいことだと思います。大変な状況の中での教育現場です。先生方に心より感謝申し上げます。
- ・ 4「自分のめあてにむかってがんばっている。」という問いに、「自分のめあてを見つけないのが難しいから」、「めあてがない」と消極的ではあるが素直な答えに受け止めてしまう。19「家の人に学校のことを話している」、20「学校に行くのが楽しい」の設問でも同様ですが、少数の声でも答えてくれている。11「あいさつ」

についても、声を出すこと自体苦手と思っている子供たちがいることを知り、可能性をいっぱいもっている子供たちに、いいこともあるんだということを日々の生活から学ばせてほしい。

- ・ 16「話を聞いてくれる」、17「認め励ましてくれる」、18「大切なことを教えてくれる」の項目が高評価で先生への信頼度が見えてきて嬉しく思います。20「学校へ行くのが楽しい」のは最高です。

○保護者のコメントから

- ・ 改善意見はよく分析して、今後に生かしてください。
- ・ よかった意見が多数で素晴らしいです。コミュニケーションも大切だと思うので、学校で何かあった時の報告・連絡・相談は、これからも密にしてください。
- ・ 体育館のトイレの整備は市に要望してください。利用者が困っています。
- ・ 学校評価内容を一通り読みました。保護者さんからの意見が散見されて納得する面もありました。
- ・ コロナ禍での1年で、先生たちが大変な思いで取り組んでくれていた。たくさんの感謝の意見が保護者から出ていました。同じように考えている保護者がいて嬉しく思いました。
- ・ 保護者の方は、よいところが多いと思います。また、学校での感染症予防対策をしながら、遠足、運動会、修学旅行など工夫しながら実施し、その時期を大切に考えて指導している先生方に感謝している様子が伺えます。
- ・ 大方、よい方向で受けているが、一部学校への依頼、依存が多く見られる。家庭内のルールをもう一度見直してはと思う。
- ・ 学校教育で大切なことは、保護者、子供、先生方、三者一体の連携だと思います。保護者の皆様方の学校に対する感謝の声に感動しました。これはひとえに校長先生はじめ教職員の皆様の子供たちに対する思い、教育の賜物であると思います。反面、改善、要望の項目に書かれたご意見は真摯に受け止めていただければ幸いです。何か思いがあっても相談できない方もいるのも現実です。そこを見逃さず関わっていただければと思います。
- ・ たくさんのコメントが寄せられ、保護者の思いが伝わってきました。日々の子供たちの指導に理解し、「自分で解決できないことは他の人の力を借りてよいと伝えてあります。～」のコメントには、頼もしさを感じました。「子供のSOSを見逃さないよう、お互いに見守ってくださることを希望します。」も素直で心に響く言葉でした。
- ・ 保護者の方々も先生方に対して、信頼と安心感と感謝を感じます。家庭も学校も子供のSOSを見逃さないように、情報交換、意思の疎通が必要だと思います。

○教職員のコメントから

- ・ これからもチームワークで、児童を細かく見てあげてください。
- ・ 縦割り班活動について、今年はあまり活動はできなかったと思いますが、先生のいうとおり、高学年は学ぶことが多いと思います。特にうちの子は末っ子で下の学年

と接するのがあまり得意ではないようです。今後もこの縦割り班での活動は続けてほしいと願います。

- ・5「読書習慣」の項目に記載されている「ゲームやタブレットなど本以外の誘惑が多く、そちらに流されてしまう傾向を強く感じている」とのことですが、子供は機器の使い方など早く習得します。今後はパソコンを上手に活用して勉強ができればよいと思います。
- ・以前、朝食抜きの児童が多く問題となっていたが、食べてくる児童が多くなったのは、保護者、教職員の協力が大きい。あいさつは個人差がある。高学年になると恥ずかしさが出てくるので。全職員が全児童の担任、嬉しい限りです。ゲーム等の問題が心配。
- ・先生方のアンケートから、校長先生をはじめとして職員間の連携がよくとれていると感じました。異動されてきた先生、新人の先生は、新しい学校での生活に不安を覚えます。「学級指導で困っている時、チームで支援して下さる。」、「先生方に御指導いただける機会が多い。」という文面を拝見して、心から安心いたしました。子供たちに関わる先生方が悩み苦しんでいたらよい教育はできないと思います。こうしたよい人的環境を導いてくださっている校長先生はじめ教頭先生、教職員の皆様に感謝申し上げます。
- ・問題対応をチームとしても対応している様子が見え、いいことであると思いました。先生方の元気は子供の元気につながっていくので、土日勤務が減るように仕事の量の改善を応援してあげたい。
- ・あいさつに関しては、一律に元気よく、大きな声で、自ら進んでなくてもいいのではと私は思います。声の大きさや子供の性格にも個人差があるのだし、大人から声掛けをすると、表情や仕草で声は小さくても挨拶は伝わります。だんだん子供から言ってくるようになると思います。

○その他

- ・今年度は終始コロナ対応で大変でした。東小も感染が発生せず、先生方の御苦勞に感謝申し上げます。修学旅行、運動会もよかった。ただ、子供たちのためになるべくことはやってあげたいというお気持ちは理解できますが、無理はなさらずに縮小・中止の決断を保護者は受け入れてくれますので。オンライン等の活用も積極的にやっていきましょう。
- ・朝晩の登下校で見かけた気付いた点を記入させていただきます。コロナ禍発生前後で、子供たちの動きが静かになってきたように見えます。特に、皆がマスクを身に付け、大声を出すこともなく、行き交う私達に挨拶することも、こちらからの挨拶に答えることも少なく、小さな声になってしまったようです。コロナ禍発生以前では、子供たちから先に大声で挨拶がきて、私達からの挨拶に大声で答えていました。今では、子供らしさが消えつつあるようです。コロナ禍対策の影響によるものと思います。子供たちにしてみれば、新しい社会生活様式の一つにぶつかり、種々迷っている時でしょう。これから先、行き交うお互い同士の気持ちを示す方法としての「大声発生」に代わる方法が必要になってくることを強く感じています。いつの日

か、お互いに大声で挨拶できることを願うばかりです。

- ・先生方の仕事量が多くて大変だなと改めて思いました。東小のそばを遅い時間に通ると、まだ車が止まっているのを見ると本当にそう思います。感謝です！！ もうすぐ卒業になりますが、ありがとうございました。
- ・コロナ禍感染症予防に配慮し、個々の児童の性格等を生かしながら教育に取り組んでいる様子に感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。
- ・今年はコロナ禍中での学校生活、各自考えて行動している。特に校長先生、教職員の方々の努力、熱心さ、子供への愛を感じました。頭が下がります。ありがとうございます。そしてお身体大切に！
- ・日頃大変お世話になっております。大変な状況の中、子供たちの教育にご尽力なされている先生方に心より感謝申し上げます。一人一人の子供たちに寄り添い関わっていただき、学校に行きたい、学校が楽しいといった気持ちももてるような教育、自分の思いがしっかり言え、人への優しさが培われるような教育を望みます。
- ・コロナ禍の中、いろんな活動が制限される日常、本当に辛いです。でも、自分だけでなく、みんなも同じ思いと考えると少し楽になります。本を読むこと、家読の形の検討が出されていました。保護者との関わりもあると思うのですが、形式はどうあれよろしく願いいたします。
- ・食に関しては家庭でのしつけが大事だと思われます。大人が後ろ姿で範を示さなければと肝に銘じたいと思います。